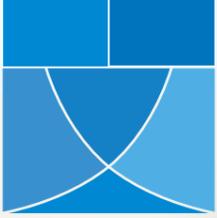


文部両道、それが私たち。

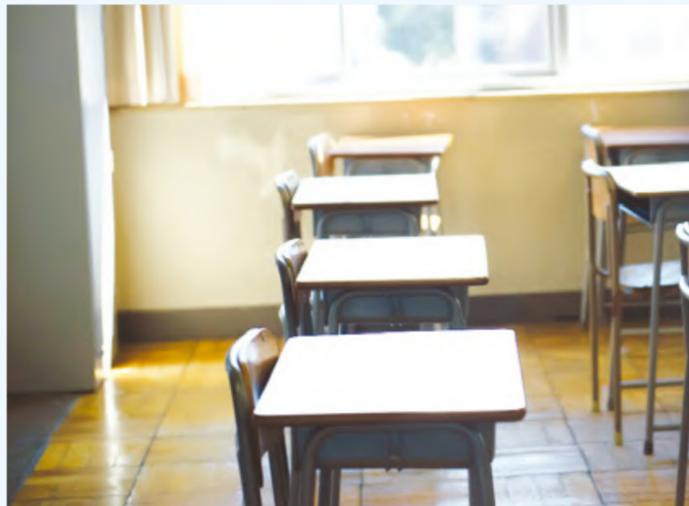


東京成徳大学高等学校

TOKYO SEITOKU UNIVERSITY HIGH SCHOOL



TOKYO SEITOKU



BIG ROCKへと続く道

将来必ずや直面する困難を

乗り越えることができる

「たくましさ」

他者の傷みを我がことと捉えて

思いやりをもって接することができる

「やさしさ」

知性と感性を磨き、

「たくましさ」と「やさしさ」を

備えた人間として

成長していく道筋に、

東京成徳の存在があります。

本気になった生徒がいます。

BIG ROCKとは

直訳すると『大きな岩』。ここでいう大きな岩とは、自分にとっていちばん大切なもののこと。いずれ社会へと旅立ち、長い人生を生きていくうえで礎となる大きな岩を、高校時代にこそ探し求め、それぞれの心の中に詰め込んでほしい。東京成徳は、「自分の存在とは何か」を真摯に見つめ、生徒一人ひとりにとっての『BIG ROCK』を探求する取り組みに力を注いでいます。



「『成徳』の精神を持つグローバル人材」に育て欲しい

2025年に創立100年を迎える本校は、目指すべき将来像として、「『成徳』の精神を持つグローバル人材」の育成を掲げました。校名にある通り本校の建学の精神は「徳を成す人間の育成」です。徳はおおらかで素直な心を示しますが、子どもの純真さとは異なり、社会人として他者からの信頼・評価を得るような実践的能力に裏付けられたものでなければなりません。こうした社会に生きる力を涵養しつつ、生徒一人ひとりの人格の完成の契機となるような教育活動の実現を本校は理想としています。

徳のある人は、自己実現に向けて、自己を高める努力を続けることができます。また、お互いを認め、他人や社会のために行動することができます。その結果、人から尊敬され、人の集まる品格が備わっていくことでしょう。人と人とのつながり、周囲の自然も含めた他者との関わりから徳は生まれるので、日頃から思いやりの気持ちを持ち、自らを律することが必要です。

高校3年間は人間形成においてかけがえない時です。

あなたも東京成徳での学校生活を通して他者や社会のために考え、主体的に行動できる人間力を磨きませんか。



東京成徳大学高等学校 校長
木内 秀樹

東京成徳の3本柱

変化する社会において、自立して生きること、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造することはとても大切です。

そのために、多角的な視点からなる教育プログラムを本校では用意しています。それが「文部両道」「自分を深める学習」「進学」です。

この3本柱を骨格として揺るぎない将来に向けた土台作りを提供します。



勉強と部活動を両輪に幅広い活動を通じて人間的成長を追求する

人・自然・社会とのつながりを意識しつつ、哲学的アプローチで自らの生き方を問う

自らの適性を把握するとともに、視野を広げて将来の展望を描く

建学の精神に基づいた5つの教育目標

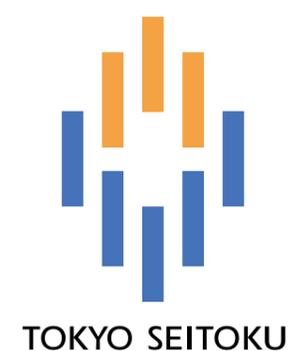
「徳」は生涯をかけて築かれるものですから、「おおらかな徳操」の実現は、人間としての最終目標でもあります。

この教育目標は、知性を磨き、身体を鍛え、その上で社会にとって有為な存在であろうとする社会参加の精神が必要である、と説いています。さらにそれを実現するためには、自分の信念に基づいた行動を起こす必要があります。理想を現実にするための行動が「実行の勇気」です。「実行の勇気」は、「おおらかな徳操」の獲得という目標と「高い知性」「健全なる身体」「勤労の精神」の3要素を結んで実現させるものです。

- 1 | おおらかな徳操
- 2 | 高い知性
- 3 | 健全なる身体
- 4 | 勤労の精神
- 5 | 実行の勇気



学園のシンボルマーク



生徒、教職員、同窓生を象徴

「活力」と「勇気」をイメージ

教育目標を象徴

「理想」と「若さ」をイメージ

学園のシンボルマークは、8本の柱をモチーフにした図形で構成されています。「活力」と「勇気」を表すイエローに彩られた柱は、それぞれ生徒と教職員、同窓生を表しています。また、「理想」と「若さ」を表すブルーに彩られた柱は、5つの教育目標を象徴しています。そして、8つの柱が一体となり、東京成徳学園と学園に集う人々のヒューマニティを作り上げる姿を表現しています。



東京成徳 3つのコース

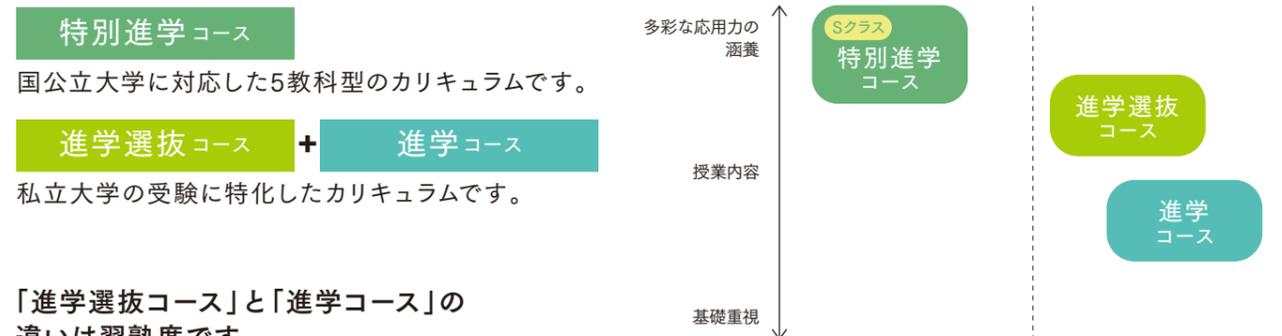
各コースの特色

特別進学コース	進学選抜コース	進学コース
<p>国公立大学・難関私立大学志望者</p> <p>主体的に学ぶ力を身につけ、難関大学への合格を目指しています。コース内には学力を基準として上位の「Sクラス」が設けられており、進級時にはメンバーを選抜します。特に、国公立大学の二次試験を念頭に、論述式の試験に対応できるような授業を展開します。</p>	<p>上位私立大学志望者</p> <p>さまざまな入試方法を視野に入れ、基礎学力の定着はもちろん、さらに発展的な問題に取り組むための応用力を培います。授業内から問題演習に力を入れ、正答の暗記だけではなく、解き方を理解することで、上位私立大学への合格という目標を実現します。</p>	<p>中堅私立大学志望者</p> <p>一人ひとりの個性や価値観を大切に、希望に沿った学校情報を提供することで進学をサポートします。中堅私立大学への合格を目指して、基礎的な内容を重視した授業を展開し、目標の達成と夢の実現を可能にする学びの場をつくります。</p>

新カリキュラムの概要

1,2年生では共通カリキュラムで習熟度別指導を行ないます。
3年生では一人ひとりの個性や価値観を重視し、各々の適性や希望に沿って指導します。

「特別進学コース」と「進学選抜コース・進学コース」ではカリキュラムが異なります。



- 特別進学コース** 国公立大学に対応した5教科型のカリキュラムです。
- 進学選抜コース + 進学コース** 私立大学の受験に特化したカリキュラムです。
- 進学選抜コース** 発展的な問題演習にも取り組みます。GMARCHなどの上位私立大学への進学を目指します。
- 進学コース** 基礎学力の定着を重視します。日東駒専、東京成徳大学・東京成徳短期大学などへの進学を目指します。

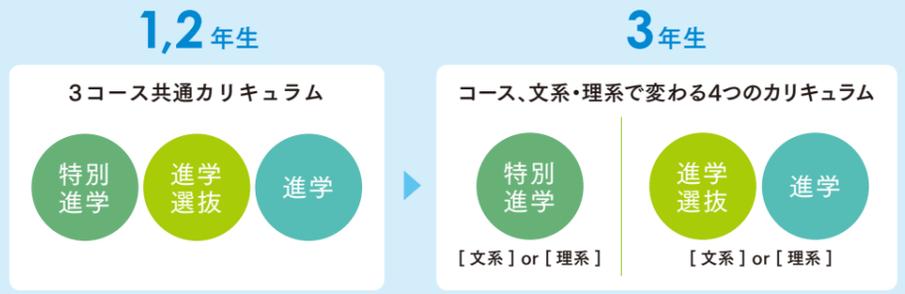
- 1,2年次は共通カリキュラムのため、コースの変更が可能です。
- 時間割(月～金:6限、土:4限)の中で学習を完成させ、課外活動(部活動を中心とした)を実践できる時間を作ります。
- すべてのコースで「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」、「一般選抜」による大学進学を念頭においた学力の習得を目指します。

コースの変更

2,3年進級時に、進学コースから進学選抜コースへ、進学コースおよび進学選抜コースから特別進学コースへコースの変更ができる制度です。1年間を通して優秀な成績を収めた生徒が対象となります。一人ひとりの志望と能力に合わせて、学習環境を最適化します。

進路希望で変わっていく独自のカリキュラム

- 1週間あたり34単位時間を設定(月～金6時間、土4時間)
- 1,2年次は共通カリキュラム
- 文理を選択(2年次の主要3教科は文理で共通)
- 3年次、進学選抜コースおよび進学コースは週30単位時間の授業



全コース共通(1,2年次は共通カリキュラム)

1年	現代の国語	言語文化	歴史総合	地理総合	数学I	数学A	物理基礎	生物基礎	英語CI	論理表現I	体育	保健	家庭基礎	情報I	総合	HR
2年 [文系]	論理国語	公共	数学II	数学B	英語CII	論理表現II	体育	保健	芸術	古典探究	日本史探究 世界史探究	化学基礎	GS	総合	HR	
2年 [理系]	論理国語	公共	数学II	数学B	英語CII	論理表現II	体育	保健	芸術	物理生物	化学基礎	化学	古典探究	GS	総合	HR

※GS:Global Study(グローバルスタディ)P.8参照

3年 [文系]	論理国語	英語CIII	論理表現III	体育	古典探究	日本史探究 世界史探究	政治経済	理科探究 文学国語+倫理	数学探究 英語探究	HR	
3年 [理系]	論理国語	英語CIII	論理表現III	体育	数学III	数学C	物理生物	化学	古典探究	政治経済	HR
3年 [文系]	論理国語	英語CIII	論理表現III	体育	古典探究	日本史探究 世界史探究	政治経済	英会話 情報 保育	文学国語 文系英語 文系数学	HR	総合型選抜対策 予備校英語
3年 [理系]	論理国語	英語CIII	論理表現III	体育	数学III	数学C	物理 化学 生物	理科 実験	理系英語 英会話 情報	HR	総合型選抜対策 予備校英語

入試対策	<p>毎週土曜日に設置</p> <p>生徒の志望によって選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 総合型選抜出願者:各講習会を受講 ● 一般選抜出願者:予備校講習(英語) 	総合型選抜対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部講師による面接対策講習会 ● 小論文の添削 ● グループディスカッションやプレゼンテーションの練習
------	--	---------	---

※2022年度入学生用のカリキュラムとして申請中



グローバル社会で 「生きる力」を育む

生徒と教員が協力し、授業をアップデートする

さまざまな価値観や勢力がせめぎ合うグローバル社会では、学校教育における授業の在り方にもさまざまな対応が求められます。その中において、生徒一人ひとりが、より良い道を自らの手で切り拓いていけるよう、私たち東京成徳も日々変化を繰り返しています。

授業ではただ知識を学ぶだけではなく、“自ら考える主体性”、“論理的思考力”、“多彩な表現力”などに重きを置き、「生きる力」を育みます。生徒と教員が協力し、日々アップデートを続けていくのが、東京成徳の授業です。



ICT(情報通信技術)を積極的に活用

東京成徳では、生徒と教員が一人一台iPadを所有しており、HRや学習活動、委員会活動や部活動に至るまで多くの場面で使用しています。プラットフォームにはOffice365を採用し、オンライン授業、チャット機能による個別対応、各教科の課題提出など、教育のさまざまな場面に活用されています。教室にはプロジェクターを完備しており、動画視聴や生徒同士の意見共有に活用されています。多角的な視点からICT機器を用いることで、より高い学習効果を得ることが可能となります。



充実した学習支援プログラム

通常の授業だけではなく、生徒が自ら学ぶための手立てが整っていることは東京成徳の大きな強みです。長期休業中には、教員による希望制の講習を開講。苦手科目の克服や得意科目の更なる伸長を目指して、自ら選択して受講します。昨今のコロナ禍では、オンラインやオンデマンドでの講習を実施し、自宅での学習をサポートしました。予備校講師の方を招いた大学入試実践対策など、放課後の講習にも力を入れています。



探究型授業「グローバル・スタディ」

変化が激しいこれからの時代を生き抜くためには、その場の状況に合わせて、自分とは異なった視点を持つ他者とスムーズにコミュニケーションを図り、より良い答えを仲間と求め続ける姿勢と能力が必要です。「グローバル・スタディ」では、主体的に物事を調べ、自らの言葉で他者と意見を交えることで、それらを身につけていきます。プレゼンテーションやディベートなどの方法を習得した後、課題を設定して探究活動を行ない、最終的にはその成果を大学試験における総合型選抜の出願時に提出できるレベルで報告することを求めています。

ネイティブ教員が常駐するDDR

(Discussion and Discovery Room)

この場所は、日本にいながら、ネイティブの教員と自然かつ自由に英語で会話することができる特別な教室です。ネイティブな英語に触れる中で、英語劇やプレゼンテーションなどアクティブな活動に挑戦します。ICTを活用した英語での自己表現の練習や、身体を動かしてのスピーチ学習も行い、実践的な英会話を学びます。海外留学のサポートや、英検・TEAP・大学入試などの英語試験対策も行っています。



海外留学のサポート

留学は大学生になってからと考えている人も多いかもしれませんが、東京成徳では高校に在籍しながら海外への留学が可能なプログラムを利用できます。1年間(1月~12月)の留学プログラムでは、ホームステイをしながら、正規の留学生として現地の高校に通学して授業を受けます。家庭生活と学校の実体験の中で、異文化についての理解や実践的な語学力の伸長を図ります。留学先で取得した単位を換算することで、帰国後は次の学年へと進級することができます。また、長期休業を利用した短期のプログラムとして、語学研修や異文化交流など、目的が異なる複数のものを用意しています。日本から離れ、自分自身で世界を感じる経験によって、広い視野と国際感覚が得られ、将来の選択肢を広げる良い機会となっています。

東大生チューター制度

東京大学応援部の協力の下、平日の放課後に現役の東大生を招き、希望者に対する学習指導を行っています。そこで学ぶ内容は、単に教科について学ぶものとは少し異なっています。ある問題に対して、教科を横断した多角的な視点から答えを探ることで、問題解決力や論理的思考力を養います。年齢の近い大学生との関わりは、普段の授業とは異なった刺激を生徒たちにもたらすと同時に、グローバル社会で「生きる力」を身に付けることにも繋がっていきます。





生徒と共に授業を作り上げる。 それが、東京成徳スタイル

個性豊かな教員が、柔軟な発想で生徒と共に授業を作り上げています。
本校の授業において大切にしているのは、生徒と教員の双方向コミュニケーションです。
私たちは、ただ答えを与えるのではなく、生徒たちそれぞれが課題に向き合い、自ら考え、意見を述べ合うことを大切にしています。そうした授業を通じて、生徒たちには、グローバル社会で必要な、多様性を認め合う力が育まれると考えます。

YouTubeで知る東京成徳

QRコードでチェック!!

先生からのメッセージ
東京成徳の魅力語り尽くす!



佐藤 彩子
英語科主任
和太鼓同好会顧問

できなかったことができるようになる！ 達成感と英語の楽しさを感じて欲しい。

授業では、少し緊張感がありながら、スピード感とテンポを大切にしています。
大変と思えることも、それを乗り越えた時に、やっぱり頑張ったよかったと思えるような毎日を過ごしてほしいと思っています。私自身、初めて英語に触れた時、日本語との違いにすごく戸惑い、こんなに難しいものなのかと思いましたが、基礎力をつけることで、自分できなかったことができるようになり、英語でコミュニケーションを取ることが純粋に楽しいと思えるようになりました。単語や文法を覚える等、基礎の部分で苦戦している生徒もいますが、早くそこを乗り越えて、英語の楽しさを感じてほしいです。

生徒の声

中学校の頃はリスニングと長文読解が苦手でしたが、佐藤先生の授業で本文のCDを聴き、音読を繰り返すようになってからは、耳が自然と英語に慣れてきました。そのおかげで、リスニングで英文が聞き取れるようになり、長文で分からない単語があっても前後の文脈から意味を推測して訳すことができるようになりました。時々、冗談を言ったり、歌ってヒントをくれるので、毎回の授業が楽しみです。

1年 特別進学コース ラクロス部 山口 史織さん(足立区立伊興中学校出身)



自分自身で考え、自分の答えを導き出す。 “考える生活”が日々を豊かにする。

国語という教科は、教材を全て暗記しても100点は取れない教科です。ただ暗記するのではなく、生徒が自分自身で考え、自分の言葉で正解を出すことが大切です。授業では模範解答を作らず、生徒たち同士で考えて答えを導き出せる授業を意識しています。まずはシンプルに文章を読んで、自分に重ねたり、他者に重ねて考えることで、“考える生活”が日々を豊かに楽しくするというのを感じてほしいですね。また、社会に出た時に必要な力を身につけるという観点でも、生徒には自分の思考を表現する力や、さまざまな情報から必要なものを的確に選択する力を養ってほしいと考えています。



橋本 雄志
国語科主任
男子バスケットボール部顧問

生徒の声



橋本先生は、教科書の文章に関係した自分の体験談などを交えて、授業の中で色々な話をしてくれるので、難しい文章であっても内容が身近に感じられて印象に残りやすいです。また、ただ教科書を読むだけでなく、授業の中でクラスメイトと考えを共有したり、同じ課題について話し合う時間を多く設けてくれます。他の人の意見を知ることで、作品への理解を更に深められていると感じます。

2年 進学選抜コース ダンス部・軽音楽部 川井 彩さん(川口市立里中学校出身)

ただの計算ではなく、その一歩先へ。 異なる視点を持つことで視野を広げる。

教科書通りではなく、生徒が自分の言葉で解説できるようになることを目指して授業をしています。複雑な公式も実は基本的なことが繋がって証明されています。計算することが数学と思いがちですが、数学には自然現象を表現する言語的な役割があり、世の中のさまざまなことを説明できます。授業を通して視野を広げ、さまざまなことに興味を持ってほしいです。高校生活は人生のゴールではなく、これから社会に巣立っていくための土台作りのお場です。あの時学んでよかったと思える授業にしたいと思っています。



堀 直樹
数学科主任
バドミントン部顧問

生徒の声



堀先生は、プロジェクターを使って授業を行うのが上手で、いつも円滑に授業が進んでいきます。また、応用の問題であっても、一つひとつ細かく丁寧な解説をしてくれるので、インプットからアウトプットまでの流れがとても綺麗で分かりやすいと感じています。中学の時よりも難しい高校数学ですが、どんどん理解が進むので、授業を受けていて楽しさが湧いてきます。

1年 特別進学コース 文芸部 酒井 陽太さん(川口市立南中学校出身)



江幡 耕司
理科科主任
自然科学部顧問

“興味”から“本気”へ。 生徒の本気を全力でサポートします。

何が分からないのか、どこに興味を持つのかは生徒によって全然違うので、授業の中で、生徒が何に興味があるのかを大切にしています。まず興味を持ってもらい、興味を持ったことに対して学びを広げていけるスキルを持ってもらいたいです。そのためにも、日々のニュースなどにもアンテナを張ってほしいと考えています。ここに来れば、勉強もそうですが、大事な何かに一生懸命取り組む姿勢が身につくと思います。そのために、私たち教師は授業も、部活動も、行事も、みんなが集中して全力を注げるようにサポートしたいと思っています。

生徒の声

江幡先生の生物の授業は、とても丁寧でわかりやすいです。私たちがこれまで知らなかった動物や細胞、人物が授業中に出てくると、iPadを用いて調べる時間を設けてくれます。映像や写真を見ることで理解が進みますし、自分自身で調べるのでその知識が頭に残り、定着に繋がっているように思います。また、授業の復習や図での説明など、私たちに寄り添った指導を行ってくれます。

1年 進学コース 水泳部 関口 雄大さん(板橋区立板橋第五中学校出身)



過去と現在の因果関係を知れば、 歴史は断然おもしろくなる。

中学までの社会の授業は語句の暗記が多いですが、それは最初の段階です。英語の授業のように、文法や単語を学ばないとその先に行けないのと同じで、社会においても年号や語句を覚える必要がありますが、本質はその先にあります。出来事をただ並べるだけでなく、因果関係や次に繋がるストーリーを理解することで、本来の歴史の楽しさを感じることができると思います。歴史が苦手な生徒に授業を好きになってもらえるよう、歴史の奥深い魅力を伝えていきたいです。



野川 史
地歴公民科主任
男子ソフトボール部顧問

生徒の声



野川先生の授業では、大学入試や模擬試験に関することも教えてくれるので、たくさんの知識が身に付きます。また、歴史上の出来事の一つひとつを、他の事象と関連付けて説明してくれるのでとても分かりやすいです。いつでも大きな声でハキハキと喋ってくれるので聞き取りやすく、またプロジェクターの利用によって効率が良く画面も見やすいので、いつも集中して授業に取り組んでいます。

1年 進学選抜コース 男子バスケットボール部 椎橋 陸斗さん(さいたま市立美園南中学校出身)



自分を深める学習

「自分」の在り方を見つめ、生き方を深める

私たちは、「他者や自然とのつながり」の中で「自分」というものの存在を知ることができます。

そしてそのつながりこそが、これから先の人生をどう生きるべきか？決して失ってはいけない人間性とは何か？を考え、自らを深めてゆく鍵になります。今日のコロナ禍では「つながり」の見えにくい状況が物理的・心理的に生まれています。しかし、だからこそ「自分を深める学習」において、つながりの大切さや生きる意味を見つめ続けることが必要なのです。授業では、映画などの映像、エッセイ、漫画・イラスト、哲学・文学作品など、知性のみではなく、感性にも訴えかける教材・プログラムを用意しました。

皆さん、共に見つめてみませんか？自分の生き方とその意味を…。

在校生からメッセージ *Message*

「自分を深める学習」が将来を考えるきっかけに

「自分を深める学習」は自分と向き合うための授業です。通常の授業では学ぶことのできないことを学べます。授業では、生徒と先生が一緒になって意見交換をする時間が設けられます。普段は自分自身について深く考えることは少ないのですが、「自分を深める学習」の授業を受け、考える機会を得ました。意見交換をする中で、今までの自分にはない発想が生まれると同時に、自分自身で考える力を養うことができました。また、「自分を深める学習」の授業では職業について学ぶ時間があります。この授業をきっかけに将来のことを考え、中学校や高校の数学の教師になりたいと思うようになりました。今は志望校の教育学部を目指し、受験勉強に取り組んでいます！

特別進学コース(Sクラス) バスケットボール部 平原 拓真さん (文京区立音羽中学校出身)

夢の後押しにつながる特別な時間

「自分を深める学習」では生徒と先生が一緒になって課題に取り組みます。授業では自分とは異なる環境で生きている人々について学ぶ機会があり、改めて自分の置かれている環境に感謝すると同時に、自分のことを考え直すきっかけになりました。私は幼少期に怪我や病気が多く、そのたびに保健室の先生にお世話になっていました。そのような経験から、養護教諭を志していたのですが、1年生の「自分を深める学習」の授業にて病気になった子どものビデオを見ました。幼いながらも病氣と向き合う子どもの姿を見て、子どもたちを助きたい、人を助きたいという思いが改めてこみ上げてきました。「自分を深める学習」の授業が養護教諭を目指すという決心を後押ししてくれました。

進学選抜コース 陸上競技部 高山 遥さん (葛飾区立立石中学校出身)



「自分を深める学習」で未来の自分を想像した

新型コロナウイルスの影響により、リモート授業になったことで、スクリーンやタブレットを使用した授業が行われるようになりました。タブレットなどを使うことによって授業の予習や復習がしやすくなり、より一層勉強に集中することができています。また、「自分を深める学習」の授業ではさまざまな映画を見ました。特に印象に残っている映画は、ガンになった余命僅かなお爺さんが病室で出会った患者と意気投合し、残りの人生でやりたいことをする旅に出る映画です。この映画をきっかけに、改めて自分の命や将来に対する価値観について考え直すきっかけになりました。以前よりスポーツに関わる栄養士になるという夢がありましたが、「自分を深める学習」の授業を経て、より一層将来への思いが強くなりました。

進学コース

男子サッカー部 マネージャー

平岡 あゆりさん
(足立区立興本扇学園中学校出身)

YouTubeで知る東京成徳



QRコードで
チェック!!



東京成徳は、勉強も部活動も、行事も全力投球
365日がきっと充実したものになる



入学式



対面式



球技大会



体育祭



文化祭



芸術鑑賞



修学旅行



修学旅行



校外学習



イングリッシュキャンプ



卒業式



野球部全校応援



吹奏楽部定期演奏会

4月

- 入学式
- 1学期始業式・対面式
- 部活動紹介
- 学習状況・学力測定
- 保護者会

5月

- 1学期中間テスト
- 公開模試(3年)
- 海外留学説明会

6月

- 体育祭
- 東京成徳大学・短大キャンパス見学
- 個別面談(学習形態指導)
- 大学説明会
- 公開模試(3年)

7月

- 1学期期末テスト
- 1学期終業式
- 保護者会
- 野球部全校応援
- 夏期講習
- 夏期特別授業(1・2年)
- 校外学習(1年)
- [自然体験プログラム]
- 実力テスト(1・2年)
- 芸術鑑賞(1年)
- イングリッシュキャンプ(2年)
- 勉強合宿(3年)

8月

- 夏期講習
- 公開模試(3年)

9月

- 2学期始業式
- 公開模試(3年)
- 球技大会
- 文化祭
- 学習状況・学力測定(1・2年)

10月

- 2学期中間テスト
- 大学等模擬授業(1年)
- 公開模試(3年)

11月

- 実力テスト(1・2年)
- 公開模試(3年)
- 創立記念日(11月26日)
- 個別面談(進路選択指導)

12月

- 2学期期末テスト
- 2学期終業式
- 保護者会
- 冬期講習

1月

- 3学期始業式
- 学習状況・学力測定(1・2年)
- 実力テスト(1年)
- 公開模試(2年)

2月

- 沖縄修学旅行(2年)

3月

- 学年末テスト
- 修了式・卒業式
- 春期講習
- 吹奏楽部定期演奏会



穏やかな時間が流れる、
快適なキャンパス

コンピュータ室



授業以外でも、昼休みや放課後、自由に使える教室になっています。動画作成・部活動などのポスター作成・練習メニューの分析や検定学習で利用している生徒もいます。OfficeソフトやVideoStudioなども利用でき、PCスキルを高めることができます。授業ではビジネススキルやグラフィックスキルの学習を主に行っています。WindowsPCとiPadを併用した複合的な学習も展開しています。



楽しく英語が学べる！
DDRの中では
日本語が禁止だよ！



DDR Discussion and Discovery Room



ネイティブの先生と一緒に、言葉と文化を含めて生きた英語を学べるDDR。英語の授業はもちろん、お昼休みには英会話を行いながらランチを楽しむことも。
Let's enjoy English together!



PCとタブレット、
どちらのスキルも
伸ばせるのが嬉しい！

カフェテリア



ランチタイムには多くの生徒で賑わう人気のカフェテリア。充実したメニューの中でも、人気の唐揚げ丼は売り切れ必至です。放課後、部活動までの時間に学習スペースとして利用している生徒もいます。

人気No.1
からあげ丼



オススメ
豚キムチ丼



みんな大好きカフェテリア！
居心地が良すぎて
つつい長居してしまうことも

YouTubeで知る東京成徳



QRコードで
チェック!!



プラネタリウム



都会の喧騒から離れ、心をリラックスさせて自分をゆっくり見つめ直す空間。天文部が主として使用しています。「自分を深める学習」では映像の視聴に使用することも。まるで映画館のような大画面で見る映像は臨場感に溢れています。



映像にのめり込んで
しまうほどの大画面！
とても癒やされる
空間です！



東京成徳の進路指導

学校内で受験に必要な力を確実につける

本校では、カリキュラムの中で受験対応が完結できるように取り組んでいます。進路アドバイザーによる進路相談はもちろん、一般選抜に対応した模試や学校推薦型選抜に対応した小論文模試・面接指導まで、幅広い進路指導を行っています。進路相談を通して、生徒一人ひとりに合った受験方法を提案し、目標に向かって全力でサポートしていきます。特に、どのような入試形態においても必要不可欠な基礎学力(英語・数学・国語)の定着に力を入れています。1・2年次に年3回実施する基礎学力診断テストを通じて、各教科の先生方と連携をとりながら学習のつまづきを無くし、勉強に対して苦手意識を持たせないように努めています。



POINT 1

プロの進路アドバイザーが進路をサポート

3年間という短い期間で将来の全てが決まるわけではありません。しかし、卒業後、そして社会に出たときに自分がどう生きるかについて、高校時代に初めて真剣に考える生徒が多いのではないのでしょうか。東京成徳では生徒たちの希望に寄り添い、一人ひとりがより良い未来を自身の力で切り拓いていくことを全力で支えています。進路アドバイザー検定に合格した教員を中心に、それぞれが望む進路を選ぶためのアドバイスをこなしています。職業の特性の紹介や大学の学部・学科についての情報提供、さまざまな受験方法に対応した指導など、生徒の夢が実現するためにきめ細やかなサポート体制を敷いています。

POINT 2

充実した講習内容と、きめ細やかな個別面談

3年生を対象に、夏期講習はコースや習熟度に応じて基礎から応用まで実施、冬期講習はさらに個別受験に対応するため、共通テスト対策、国公立二次対策、私立入試対策を実施しています。共通テスト後には個別面談を実施し、志望校合格に向け、きめ細やかな指導を行なっています。

2020年 高3夏

夏期講習 講座数

49

全コース対象



2020年 高3冬

冬期講習 講座数

39

目的に沿った3つの受験対策



令和2年度(高等部)

合格実績

- 国公立(準大学を含む) 28人(現役:27 浪人:1)
- 早稲田・慶應義塾・上智・東京理科 12人(現役:9 浪人:3)
- 学習院・明治・青山学院・立教・中央・法政・関関同立 80人(現役:69 浪人:11)
- 文系難関大(成蹊・成城・武蔵・明治学院・國學院・獨協) 46人(現役:45 浪人:1)
- 理系難関大(北里・東邦・芝浦工業・東京電機・東京農業・東京都市) 43人(現役:37 浪人:6)
- 日本・東洋・駒澤・専修 85人(現役:69 浪人:16)
- 大東文化・東海・亜細亜・帝京グループ・国士館 113人(現役:105 浪人:8)

POINT 3

高校3年間の進路プラン

高1

入学して間もない時期ではありますが、新たな学習習慣を早いうちに身につけることが重要だと考えます。スタディープログラムでは、事前課題学習と目標設定(P)、学力診断テスト(D)、結果の振り返り(C)、テキストや学習動画での復習(A)という流れで学習サイクルを身につけることができます。進路指導部では、Classiを使った生徒への課題配信や、各教科担当者と苦手分野の共有に努めています。

- 4月 第1回スタディープログラム(基礎学力診断テスト)
- 5月 夢ナビプログラム
- 7月 第1回進研模試
- 8月 オープンキャンパスへの参加
- 9月 第2回スタディープログラム(基礎学力診断テスト)/文理適性検査の実施
- 10月 大学模擬授業の実施
- 11月 第2回進研模試
文理選択
- 1月 第3回スタディープログラム(基礎学力診断テスト)
第3回進研模試
- 2月 キャリア講演会



高2

1年次の文理選択からさらに一歩踏み込み、学部学科決定までをサポートしていきます。中でも大きなイベントは、校内で実施する大学・短大説明会です。約80校の大学・短大・専門学校の方に来ていただき説明を聞くことで、より具体的な進学イメージを持つことができます。

- 4月 第1回スタディープログラム(基礎学力診断テスト)
- 6月 大学・短大説明会(校内実施)
- 7月 第1回進研模試
- 8月 オープンキャンパスへの参加
- 9月 第2回スタディープログラム(基礎学力診断テスト)/学部学科適性検査
- 11月 第2回進研模試
- 1月 第3回スタディープログラム(基礎学力診断テスト)/河合塾共通テスト模試
- 3月 卒業生の講話



大学・短大説明会

高3

本校ではさまざまな形態の受験に対応できるような指導をしています。一般選抜に向けては、多くの模試を受験することで自分の立ち位置をしっかりと把握し、合格の可能性を高めていきます。総合型・学校推薦型選抜に向けては、本校の教員による面接指導や小論文添削に加え、外部講師による面接指導も受けることができます。また、スタディサプリを導入しており、タブレット端末等を利用して自分のペースで学習に取り組むことができます。

- 4月 第1回スタディサプリ(到達度テスト)
- 6月 大学・短大説明会(校内実施)/併設大・短大推薦入試説明会
- 7月 総合型選抜(旧AO入試)説明会
- 9月 第2回スタディサプリ(到達度テスト)/学校推薦型選抜説明会/
総合型選抜(旧AO入試)面接練習会
- 12月 出願校決定面談
- 1月 共通テスト・共通テストリサーチ/国公立大出願検討面談

その他、河合塾全統模試や駿台模試など、年間を通して多数受験予定



総合型選抜面接練習会



徳を成す人を育む、 東京成徳の教科教育

教務主任

塚本 浩貴

受験生の皆さんへのメッセージ

大学進学がゴールではなく、 社会に必要な基礎を作り、 知識のバランスを重要視した教育を

本校の教科教育の特長は、社会情勢の変化や生徒の個性に応じて、日々アップデートされることです。生徒と教員は、柔軟な発想で新しい物事に積極的に取り組み、共に成長していきます。カリキュラムでは“バランス”を大切にしています。学校組織として教員の裁量や自由度を認めるためには、教科教育の骨格として、バランスのとれたカリキュラムが必要になります。文系理系を問わず、2年次までは教養として幅広い分野を学びます。生徒の習熟度に基づいて授業のレベルを設定しますが、生徒の主体性を重んじるためにもカリキュラムのマネジメントを欠くこと

穏やかな日常の中で、精神的に成長できる “確かな場所”であり続ける

“文部両道”を掲げる本校は、部活動への参加も大切にしています。限られた時間の中で志望校合格を実現できるように、時間割の中で教科教育を完結することを目指しています。また、一般選抜に向けた問題演習だけではなく、大学教授を招いて模擬授業を校内で開催したり、推薦試験に向けて面接指導したりするなど、さまざまな取り組みを行事として実施します。

最後に、大学受験に対応することはもちろんですが、学校生活の基盤として最も大切にしていることは、穏やかな日常の中で生徒が精神的に成長する環境を提供することです。激しく変化する時代の中で、変わっていくものは何か、変わらないものは何か、そして守りたいものを守るために、何を变えていかなければならないのかを生徒とともに考え、“確かな場所”であり続ける。私たち教職員は、そのような価値観を生徒だけでなく保護者の皆様と共有しながら、東京成徳らしい“日常”をつくっていきます。



なく、日頃から適切なレベルに調整しています。3年次では、生徒が希望する進路に沿って授業の内容が大きく分かれますが、その中でもバランスを重視し、高校卒業時点では、成人として求められる知識や技能がバランスよく身につけていることを目指しています。

バランスを重視することは、生徒の希望進路の実現にも繋がっていきます。大学入試改革に伴って入学における比率が上昇している総合型選抜では、理系だから数学や理科の問題が解ければよい、あるいは文系だから英語を話せたり歴史を知ったりすればよいというわけではなく、今後の社会でどのような技術や概念が求められるかという“視点”や、自分自身がどのような社会的な課題を解決したいかという“意欲”を表現することが求められます。



進路指導主任

平川 元喜

国際交流部主任

古田 ゆかり

生徒に寄り添った授業を

平川 本校は幅広い層の生徒が入学してくるので、入学してからさまざまな選択肢があることが魅力です。学力帯が固まった高校と比べ、部活動を頑張りたい生徒も、勉強を頑張りたい生徒も、学校行事や部活動を通じて、コースを越えて交流する機会が多く、さまざまな考え方に触れ、刺激し合うことで新しい発見があったり、自分の価値観を広げることができます。

古田 部活動を本気で打ち込みたい生徒も、勉強に本気で打ち込みたい生徒も、学校での楽しい時間を共有できるのは、東京成徳の良いところですね。例えば、一生懸命取り組んだ部活動をきっかけに、将来の夢を見つけたり、大学進学を選択したりする生徒もいます。さまざまな進路を提示できるので、それぞれの生徒に合った進路を選べるのが本校の魅力でもあります。



文部両道の上で進学がある

平川 進路指導部としては、生徒が部活動をしている前提でさまざまな仕掛けを行なっています。多忙な生徒が多いので、「夏休みにオープンキャンパスに行きましょう」といっても部活動があり、時間を確保することができない。そのような際に、大学の先生にお越しいただき、大学説明会や模擬授業を実施することで、進路について考える機会を与えています。

古田 国際交流部においても、部活動に参加している生徒がいることを前提に、プログラムを用意しています。具体的には、留学の募集機会を春と夏に2回設けることで、海外に行けるチャンスを少しでも多く得られるようにしています。そういった取り組みが「文部両道」を成立させる進路指導になると考えています。

進路指導で大切にしていること

平川 進路を選ぶ際、生徒はどうしても目先の関心に飛びつきやすいのですが、その仕事で本当に良いのか、確かな収入を得られるのか、家族を養えるのかという、一歩引いた目線での判断は必要です。長期的な目線で、先々まで生徒自身で考えられるような進路指導を大切にしています。

古田 留学指導においても、1から10まで、こちらから情報を与えずに気をつけています。もちろんサポートはしますが、自ら考え、意思を示し、決断する力を育みたい。自分の進路は生徒主体で考えてほしいので、そのようなスタンスで接しています。



大学受験は常に変化している

平川 入学してすぐだと、どうしても大学受験に対して目を背けがちです。なので真っ向から立ち向かうのではなく、少しずつ情報収集していくことが大切です。2022年からは新カリキュラムが始まり、より不透明な受験が待ち構えています。そのため、大学受験の変化に対応できる柔軟性や、聞く力、情報収集をする力を身に付けられるようサポートしていきます。

古田 高校生活は次の進路を自身で決めなくてはならない3年間でもあります。どんな小さな悩みでも親身に話を聞いてくれる先生が多いので、安心して一緒に将来の進路について考えていきましょう。



確かな学びを得るための、 開かれた学習スペース

自習室



「自ら学びたい」生徒の意欲を叶えるための自習室。隣席とはパーティションで仕切られており、一人で集中して学習に臨むことができます。早朝は7:00から放課後は19:00まで開いているため、それぞれの希望に合わせての利用が可能です。特に受験勉強に打ち込む3年生や、定期試験・模擬試験の対策のために多くの生徒が活用しています。

学校内で自学自習できる
スペースがあるのは
すごく助かります。



進路指導室



生徒の進路希望を実現するための場所が、進路指導室です。進路指導室には進路アドバイザー検定に合格した教員を中心として、経験豊かな進路指導部員が常駐しています。各大学の資料や充実した過去問題、キャリアに関する情報が用意されており、訪れる一人ひとりの希望に沿ってさまざまなサポートが行われます。個別の相談にも親身になって寄り添うことで、夢の実現を後押しします。

卒業生からメッセージ *Message*

進路指導がきっかけで、難関校にチャレンジ

3年次の進路指導で目標よりレベルの高い大学を勧められたことをきっかけに、難関校にチャレンジしました。無事に合格することができたのですが、受験から挑戦することの大切さを学びました。受験勉強を支えたのは、部活動で学んだ「凡事徹底」という言葉です。当たり前のことを当たり前やる。基礎を怠らせずに効率の良い勉強を心掛け、その積み重ねが結果につながったと思います。

進学先 **中央大学 経済学部** 進学コース **星 正寿**さん(板橋区立上板橋第一中学校出身)



「自分を深める学習」が進路を決めるきっかけに

「自分を深める学習」の授業で人の命の大切さや生き方、愛について考えたことをきっかけに哲学に興味を持ち、進路を決めました。私は誰かが喜んでくれている顔を見ることが好きなので、大学で人の心について学び、将来はホテルコンシェルジュになりたいと考えています。大学では積極的にインターンなどに参加し、目標に一歩でも近づけるよう努力していきたいと思っています。

進学先 **東京都立大学 人文社会学部** 特別進学コース
和氣 野乃佳さん(板橋区立向原中学校出身)



野球部で文部両道を実践

私は野球部に所属していました。野球部では仲間と話し合い、勝つために全力で野球に打ち込みましたが、そんな仲間たちと過ごした野球部での3年間は、私にとってかけがえのない日々となりました。野球部では技術以外にも全力でやること、忍耐、礼儀、感謝など多くのことを学び、大学受験でも野球部で培ったことを活かしながら、志望校の合格を勝ち取ることができました。

進学先 **千葉大学 法政経学部** 特別進学コース
同前 侑和さん(葛飾区立立石中学校出身)



ピンチをチャンスに変えて現役合格

3年間吹奏楽部に所属していたのですが、新型コロナウイルスの影響により、定期演奏会が無くなってしまいました。練習を重ねていたこともあり、非常に悔しかったです。しかし、その悔しさをバネに空いた時間を受験勉強に充て、目標にしていた志望校合格のための勉強に集中することができました。人に教えることが好きなので、将来は社会の先生になりたいです。

進学先 **東京学芸大学 教育学部**
進学選抜コース
荒尾 夢颯士さん(杉並区立神明中学校出身)



QRコードで
チェック!!

校内MAP

生徒の一日

- 朝のHR 8:25~8:35
- 1時間目 8:40~9:30
- 2時間目 9:40~10:30
- 3時間目 10:40~11:30
- 4時間目 11:40~12:30
- 昼休み 12:30~13:15
- 5時間目 13:15~14:05
- 6時間目 14:15~15:05
- 終礼 15:05~
- 課外活動 19:00 最終下校
(一部例外あり)

④15:30~
部活動

顧問の先生と相談して
レシピを考えて
調理します



②9:40~
2時間目
現代文授業



③12:30~
昼食



④15:30~
自習

部活動が始まるまでの
隙間時間を使って自習します。



③12:30~
昼休み



②10:40~
3時間目
日本史授業

歴史は暗記ではなく
時代の流れを理解



⑥19:00~
下校

今日も一日
お疲れさまでした。



①8:20~
登校

今日も東京成徳の
一日がスタート!



1年 進学コース
料理部
長瀬 磨弥(荒川区立第九中学校出身)

⑤16:30~
部活動



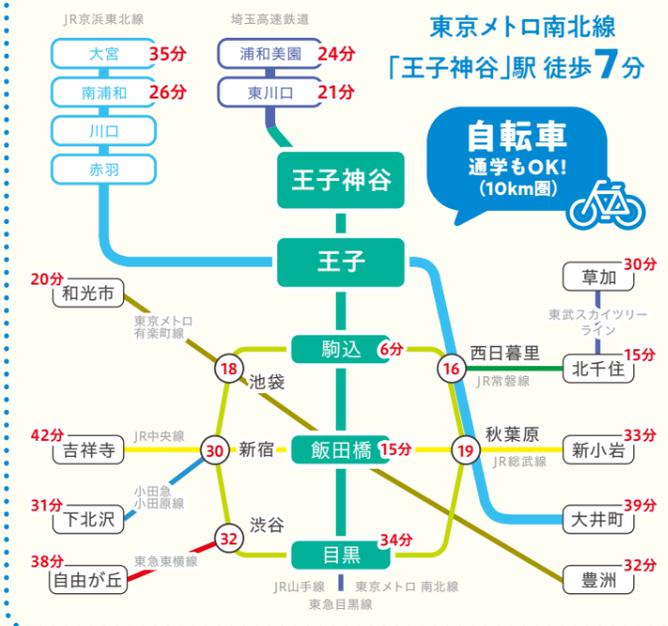
東京優勝を目標に掲げ
日々努力しています。

①7:00~
朝練習



2年 進学選抜コース
男子バスケットボール部
掛田 航平(荒川区立南千住第二中学校出身)

電車での通学



バスでの通学

- JR京浜東北線「王子」駅
都バス「豊島八丁目」下車
…徒歩2分
- 東武スカイツリーライン「西新井」駅
都バス「豊島四丁目」下車
…徒歩7分
- 東武東上線「ときわ台」駅
国際興業バス
「王子五丁目」下車
…徒歩7分
- 都営地下鉄三田線「板橋本町」駅
都バス国際興業バス
「王子五丁目」下車
…徒歩7分



各種イベント日程

詳細についてはホームページにて随時更新いたしますので、ご確認ください。
<https://www.tokyoseitoku.jp/hs/>



● 学校説明会	7/11 (日)	● オープンキャンパス	6/12 (土)	● 個別相談会	11/14 (日)
オンラインで ライブ配信も実施	10/10 (日)		8/23 (月)		11/21 (日)
	11/3 (祝)		9/4 (土)		12/5 (日)
	11/28 (日)		9/11 (土)		12/12 (日)
			10/23 (土)		12/19 (日)
			11/13 (土)		
● ミニ学校説明会	9/19 (日)			● 桐蔭祭 (文化祭)	9/25 (土)
	10/16 (土)				9/26 (日)
	11/6 (土)	● 部活フェスタ	8/1 (日)		
	11/20 (土)		8/2 (月)	● 過去問解説会	12/19 (日)



多彩に組み合わせられる
オシャレな制服

Uniforms and Items



先輩からメッセージ

Message

目標を持つことの大切さを学んだ学生時代



母校である本校の保健室を担当し、病気やけがをした生徒たちの応急処置や健康診断をはじめ、教育相談など学校全体の保健に関わる仕事をしています。また、バトントワリング部の顧問として、指導にも携わっています。在学時は仲間と共に全国大会優勝を目標に練習に励んでいました。そうした経験から、目標を明確に設定し、諦めず取り組むことの大切さを学ぶことができました。本校は勉強だけでなく部活動や課外活動も盛んです。その中には自分自身を成長させるきっかけが沢山あります。是非、さまざまなことに挑戦して新しい自分を発見してください!

現在の職場

東京成徳大学高等学校 東京女子体育大学 体育学部 卒

今井 梨乃さん (2016年卒業 進学コース/練馬区立大泉中学校出身)

二兎追うものしか二兎得られない

在学時には男子バレーボール部に所属していました。2年次に海外遠征のメンバーに選ばれた際、高校からバレーボールを始めた私が行っていいのかという不安がありました。顧問の先生に背中を押してもらい、チャレンジをすることができました。遠征では多くの学びと達成感を得ることができました。そのような経験から、現在の仕事でもさまざまなことにチャレンジすることを心がけています。東京成徳は文部両道を目指す人におすすめの学校です。もちろん、二兎追うことは難しいですが二兎追うものしか二兎を得られません。二兎追うことにチャレンジできる環境が東京成徳にはあります。皆さんも是非、東京成徳で二兎を得てください!



現在の職場

トヨタファイナンス株式会社 東京都立大学 都市教養学部 卒

酒井 哲哉さん (2011年卒業 特別進学コース/練馬区立旭丘中学校出身)

諦めず努力をする大切さを学べた3年間



顧問の先生からのお誘いを受け、お世話になった母校の女子バレーボール部の外部コーチとして生徒たちをサポートしています。目標に向かってひた向きに努力を重ねる生徒たちの姿から、いつも刺激をもらっています。チームの一員として目標を達成できるようにサポートをしたいと思います。私自身も在学時は女子バレーボール部で目標を定め、練習に励んでいました。厳しい練習もありましたが、最後まで部活動をやりきることができました。その経験から、受験でも目標に向かって最後まで諦めず、努力を重ねることで志望校に合格することができました。東京成徳は全ての学校行事が魅力的で、先生方も優しいので充実した学校生活が送れると思います!

東京成徳大学高等学校(外部コーチ) 日本大学 文理学部 在学中

西條 友唯さん (2019年卒業 進学コース/北区立桐ヶ丘中学校出身)

充実の設備で
部活動をサポート

グラウンド



人工芝とナイター完備のグラウンド。体育の授業に、さまざまな部活動に多くの生徒が利用しています。タータントラックもあり、陸上競技部が練習を行っている他、スポーツテストにも使用します。



テニスコート



2013年に改装工事が完了した人工芝のオムニコート。雨にも強く、テニス部が日々練習を行っています。体育の授業でも使用しており、本格的なコートでテニスを行うことが可能です。

温水プール



東京都内の学校には珍しい温水プール。季節に関係なく、いつでも快適に泳ぐことが出来ます。体育の授業や水泳部の活動で利用しています。

トレーニングルーム



第一体育館



ギャラリー完備の最も広い体育館では体育の授業はもちろん、主にバスケットボール部、バドミントン部、バトントワリング部が活動しています。入学式や卒業式などの式典や、文化祭のオープニングなど行事でも使用しています。



第五体育館



2012年に完成した新しい体育館。授業以外でもバレーボール部とバトントワリング部が日々汗を流して練習しています。

弓道場



2013年に完成した市内でも有数の総ヒノキ素木張りの道場。約50人の弓道部員が心身の鍛錬に励んでいます。

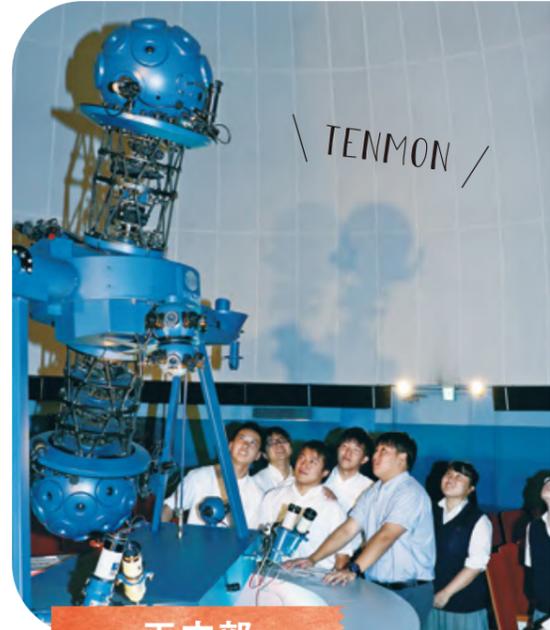


SHODO

書道部

公益社団法人 創玄書道会主催
第57回 全国学生書道展

毎日新聞社賞・奨励賞
特選・秀作・優作



TENMON

天文部

毎日新聞社主催
第29回 国際高校生選抜書展(書の甲子園)

秀作賞・入選



KADO

華道部

文化部

仲間と挑戦する時間は
ワクワクでいっぱいだ



YouTube部
高木 彩花さん 島田 空歩さん

YouTube部は、「YouTubeを通じて社会貢献をする」ことを目的に2021年に発足しました！これから学校の情報や地域の情報を皆さんに発信していきます。私たちの目線だからこそ伝えられるような学校の魅力を東京成徳チャンネルにどんどんアップしますので、ぜひ視聴してください！

YouTube部



YOUTUBE

YouTubeで知る東京成徳



QRコードで
チェック!!



東京成徳大学高等学校 部活動一覧

運動部

- 男子バレーボール
- 女子バレーボール
- 男子バスケットボール
- 女子バスケットボール
- 男子テニス
- 女子テニス
- 卓球
- 水泳
- 陸上競技
- バドミントン
- 剣道
- 弓道
- 男子サッカー
- 女子サッカー
- バトントワリング
- ラクロス
- 硬式野球
- 柔道
- 男子ソフトボール
- 女子ソフトボール
- ダンス

文化部

- 天文
- 書道
- 美術
- コンピュータ
- 演劇
- 自然科学
- 漫画イラスト研究
- 電脳
- ボランティア
- 軽音楽
- 放送
- 英語
- 華道
- 料理
- 裏千家
- 歴史
- 合唱
- 吹奏楽
- 理科実験
- 鉄道研究
- 文芸
- 生徒会執行部

同好会

- YouTube部
- 和太鼓
- 知的ゲーム
- 競技かるた
- 数学研究
- 写真
- 将棋
- クイズ研究
- ハンドボール
- ダンス
- 料理
- English Pop
- Peer Support
- Global English

軽音部



軽音楽部
林 美優さん
(さいたま市立美園中学校出身)

私たち軽音楽部は、顧問の福岡先生と部員約50名で楽しく活動しています。演奏レベル、やりたい音楽、活動頻度などに合わせて練習日程を自由に決められるので、初心者から本格的に音楽に取り組みたい人まで楽しく活動することができます。最も盛り上がるのが文化祭です。特に開会式のライブは全校生徒が一体となって盛り上がる最高の瞬間です。

KEION

吹奏楽部



吹奏楽部
小野 裕大さん
(三芳町立三芳中学校出身)

東京都高等学校吹奏楽コンクール A組銅賞
東京都高等学校吹奏楽コンクール BII組銀賞
東京都高等学校アンサンブルコンテスト 金賞

吹奏楽部は週6日、1日2~3時間活動しています。夏のコンクール、1月のアンサンブルコンテストや定期演奏会に加え、入学式などの式典や体育祭、文化祭、野球応援などさまざまな場面で演奏しています。昨年はiPadを利用して撮影した動画を編集し、動画でのコンサート配信にも挑戦しました！経験者の方も、初心者の方も男女問わず大歓迎です！私たちと一緒に楽しく楽器を演奏して充実した吹奏楽ライフを送ってませんか？

SUISOGAKU



部活動も、勉強も全力だから
生まれる大切な絆
— 運動部 —

FOOTBALL /

女子ソフトボール部



ラクロス部

男子サッカー部



男子サッカー部
瀬山 陽生 さん (川口市立青木中学校出身)

サッカー部では東京都ベスト8以上を目標に部員全員が日々努力しています。普段の練習では約100名の部員が5つのチーム分かれて活動しており、リーグ戦や大会で結果を残すために一回一回の練習を常に全力で取り組むことを心掛けています。また、サッカーだけでなく勉強と部活動の両立を徹底し、練習までの空き時間に自習室を活用したり、仲間同士で教え合ったり、文部両道を実践しています！

女子サッカー部



バトントワリング部

男子バレーボール部



バドミントン部



女子バスケットボール部



硬式野球部

女子バレーボール部



VOLLEYBALL /



女子バレーボール部
青木 あめりさん
(中央区立佃中学校出身)

2020 東京都新人選手権大会 ベスト32
2021 東京都春季大会 ベスト32

こんにちは！女子バレーボール部です。私たちの練習で掲げている目標は「絆」です。このスローガンの意味は仲間との関係性！監督やコーチとの信頼関係、保護者への感謝などが含まれていると考えています。目標は東京都でベスト16、そして関東大会出場です。コロナ禍で十分な練習ができていない中でも、時間を最大限有効に使えるような練習メニューを自分たちで考えて実践しています！

男子バスケットボール部



卓球部



弓道部



TOKYO SEITOKU



文部両道、それが私たち。



TOKYO SEITOKU

東京成徳大学高等学校

TOKYO SEITOKU UNIVERSITY HIGH SCHOOL